



2021年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月9日

上場会社名 アゼアス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 文明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 2020年12月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第2四半期の連結業績(2020年5月1日～2020年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	4,674	4.1	243	44.9	289	63.5	210	75.6
2020年4月期第2四半期	4,872	7.0	168	137.1	176	80.9	120	77.4

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 198百万円 (75.6%) 2020年4月期第2四半期 113百万円 (89.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	37.47	
2020年4月期第2四半期	21.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第2四半期	8,103	5,694	70.3
2020年4月期	7,758	5,608	72.3

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 5,694百万円 2020年4月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		20.00	20.00
2021年4月期		0.00			
2021年4月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,711	2.3	397	14.7	474	0.5	291	7.9	51.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期2Q	6,085,401 株	2020年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	2021年4月期2Q	456,847 株	2020年4月期	456,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期2Q	5,628,554 株	2020年4月期2Q	5,617,277 株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年4月期2Q 113,700株、2020年4月期 113,700株)が含まれております。また、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。(2021年4月期2Q 113,700株、2020年4月期2Q 124,977株) 株式会社日本カस्टディ銀行は、JTC ホールディングス株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2020年12月16日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立への取り組みが進むものの、感染症の収束には至らず、経済活動の正常化が見通せない厳しい環境が続いています。経済活動の制約が続くことで、先行き不透明な状況が見込まれる一方で、デジタル化の加速と新しい生活様式の定着という経済・社会構造の変化により、企業活動の変革と需要構造の変化に対処していくことも求められています。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業が引き続き比較的堅調に推移し、売上高は4,674百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は243百万円（前年同四半期比44.9%増）、経常利益は289百万円（前年同四半期比63.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円（前年同四半期比75.6%増）となり、減収ながら増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、有害化学物質から人と環境を守る、感染症から人と環境を守る、作業環境リスクから人を守る、という3つの営業活動を進め、当社の強みであるタイベック®防護服の安定供給と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。その結果、売上高は2,652百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益（営業利益）は358百万円（前年同四半期比36.7%増）となり、増収増益となりました。

機能性建材事業におきましては、利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、需要の縮小が続いており、売上高は509百万円（前年同四半期比16.4%減）、セグメント利益（営業利益）は12百万円（前年同四半期比43.5%減）となり、減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、取引先の在庫調整及び新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、売上高は1,100百万円（前年同四半期比21.6%減）、セグメント利益（営業利益）は27百万円（前年同四半期比48.0%減）となり、減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は169百万円であります。

(注) 「タイベック®」は、米国デュポン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて4.9%増加し6,320百万円となりました。これは、主として現金及び預金が392百万円増加、商品及び製品等の棚卸資産が205百万円増加し、受取手形及び売掛金等の売上債権が244百万円減少したためであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて3.0%増加し1,783百万円となりました。これは、主として持分法適用の範囲の変更等により投資その他の資産が62百万円増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて344百万円増加し8,103百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて16.2%増加し2,134百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金等の仕入債務が331百万円増加したためであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて12.6%減少し273百万円となりました。これは、主として長期借入金が返済により37百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1.5%増加し5,694百万円となりました。これは、主として利益剰余金が98百万円増加したためであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて353百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には2,113百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、453百万円(前年同四半期は193百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加339百万円、税金等調整前四半期純利益289百万円、売上債権の減少231百万円であります。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加208百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、64百万円(前年同四半期は42百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、貸付金の回収120百万円、定期預金の払い戻し60百万円であります。支出の主な内訳は、定期預金の預け入れ100百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、151百万円(前年同四半期は158百万円の支出)となりました。支出の内訳は、配当金の支払い114百万円、長期借入金の返済37百万円であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,905	2,463,898
受取手形及び売掛金	2,232,707	2,011,179
電子記録債権	505,213	482,613
商品及び製品	924,836	1,105,672
原材料	141,335	165,804
仕掛品	1,953	1,793
その他	169,939	105,869
貸倒引当金	△20,484	△16,825
流動資産合計	6,026,408	6,320,006
固定資産		
有形固定資産	1,323,296	1,305,764
無形固定資産	75,155	81,402
投資その他の資産		
投資有価証券	143,985	158,531
その他	203,205	254,061
貸倒引当金	△13,374	△16,106
投資その他の資産合計	333,816	396,485
固定資産合計	1,732,268	1,783,653
資産合計	7,758,677	8,103,659
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,141,192	1,470,950
電子記録債務	274,549	276,754
賞与引当金	57,200	71,500
未払法人税等	106,620	86,984
1年内返済予定の長期借入金	74,988	74,988
その他	182,342	153,678
流動負債合計	1,836,892	2,134,855
固定負債		
長期借入金	118,779	81,285
役員退職慰労引当金	100,160	100,160
役員株式給付引当金	22,867	27,538
退職給付に係る負債	71,615	64,886
固定負債合計	313,422	273,870
負債合計	2,150,315	2,408,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,846,218	3,944,854
自己株式	△256,769	△256,769
株主資本合計	5,571,197	5,669,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,556	1,538
繰延ヘッジ損益	545	-
為替換算調整勘定	45,175	23,561
その他の包括利益累計額合計	37,164	25,100
純資産合計	5,608,362	5,694,933
負債純資産合計	7,758,677	8,103,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	4,872,681	4,674,389
売上原価	3,930,514	3,731,973
売上総利益	942,167	942,416
販売費及び一般管理費	774,159	699,015
営業利益	168,007	243,401
営業外収益		
受取利息	243	643
受取配当金	1,497	3,604
持分法による投資利益	-	30,454
為替差益	1,084	-
業務受託料	-	9,000
補助金収入	3,750	-
保険解約返戻金	3,452	-
その他	753	3,333
営業外収益合計	10,781	47,035
営業外費用		
支払利息	379	335
保険解約損	1,187	-
為替差損	-	858
リース解約損	270	-
その他	72	45
営業外費用合計	1,908	1,239
経常利益	176,881	289,197
特別損失		
減損損失	123	120
固定資産除却損	948	-
ゴルフ会員権売却損	7	-
特別損失合計	1,079	120
税金等調整前四半期純利益	175,801	289,076
法人税、住民税及び事業税	49,003	76,760
法人税等調整額	6,666	1,375
法人税等合計	55,670	78,135
四半期純利益	120,131	210,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,131	210,941

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	120,131	210,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,528	10,094
繰延ヘッジ損益	1,961	△545
為替換算調整勘定	△11,365	△21,613
その他の包括利益合計	△6,876	△12,064
四半期包括利益	113,255	198,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,255	198,876

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,801	289,076
減価償却費	33,305	26,731
減損損失	123	120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	263	192
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,400	14,300
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,320	-
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△5,989	4,670
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,130	△4,504
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,502	△19,551
受取利息及び受取配当金	△1,741	△4,247
為替差損益(△は益)	14	11
持分法による投資損益(△は益)	-	△30,454
支払利息	379	335
売上債権の増減額(△は増加)	△285,611	231,460
たな卸資産の増減額(△は増加)	△145,202	△208,613
仕入債務の増減額(△は減少)	680,041	339,909
前渡金の増減額(△は増加)	△1,091	△58,804
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,352	△39,608
差入保証金の増減額(△は増加)	△150,000	-
その他	14,730	2,322
小計	265,118	543,347
利息及び配当金の受取額	1,773	4,302
利息の支払額	△365	△328
法人税等の支払額	△78,060	△95,403
補助金の受取額	3,750	-
保険解約返戻金の受取額	1,390	-
その他	-	1,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	193,606	453,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,125	△5,894
投資有価証券の取得による支出	△59,209	-
投資有価証券の売却による収入	20,400	-
無形固定資産の取得による支出	△170	△9,010
関係会社貸付金の回収による収入	-	120,000
定期預金の預入による支出	-	△100,000
定期預金の払戻による収入	100,000	60,115
保険積立金の解約による収入	4,942	-
保険積立金の払戻による収入	3,138	-
その他	△1,687	△613
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,288	64,597

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△74,994	△37,494
社債の償還による支出	△15,000	-
配当金の支払額	△68,677	△114,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,671	△151,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,596	△13,780
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,627	353,107
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,397	1,760,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,319,025	2,113,898

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

2. 取締役等に対する株式給付信託 (BBT) の導入

当社は、当社取締役及び監査役 (社外取締役及び社外監査役を含みます。以下、「取締役等」といいます。) の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役 (社外取締役を除きます。) が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めること並びに、社外取締役にあつては監督、監査役にあつては監査を通じた中長期的な企業価値の向上に貢献する意識を高めることを目的として、取締役等に対する新たな株式報酬制度「株式給付信託 (BBT (=Board Benefit Trust))」 (以下、「本制度」といいます。) を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」 (実務対応報告第30号 2015年3月26日) に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程 (ただし、役員株式給付規程のうち、監査役に関する部分については、その制定及び改廃につき、監査役の協議に基づく同意を得るものといたします。) に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭 (以下、「当社株式等」といいます。) が信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度59,793千円、113,700株、当第2四半期連結会計期間59,793千円、113,700株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,518,371	610,097	1,403,943	4,532,413	340,268	4,872,681	—	4,872,681
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	519	86	4,719	5,324	20,313	25,638	△25,638	—
計	2,518,890	610,184	1,408,662	4,537,737	360,582	4,898,320	△25,638	4,872,681
セグメント利益	261,955	21,431	53,185	336,572	7,766	344,338	△176,330	168,007

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△206千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△176,124千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,652,595	509,794	1,100,025	4,262,415	411,974	4,674,389	—	4,674,389
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,832	10	4,806	7,649	18,710	26,360	△26,360	—
計	2,655,427	509,805	1,104,831	4,270,064	430,685	4,700,749	△26,360	4,674,389
セグメント利益	358,129	12,117	27,632	397,879	15,278	413,157	△169,756	243,401

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△478千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△169,278千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「たたみ資材」としていた報告セグメントの名称を「機能性建材」に変更しております。この変更は名称変更のみでありセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の報告セグメントの名称で記載しております。